

3

設計事例集



## 目 次

### 3.1 新築

01.日本青年館ホテル .....	92
02.ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町 .....	96
03.ダイワロイネットホテル銀座 .....	100
04.ザ ロイヤルパークホテル 東京羽田 .....	102
05.ホテルグランヴィア京都 .....	104

### 3.2 改修等

06.京王プラザホテル .....	108
07.後楽ガーデンホテル（後楽賓館） .....	112
08.RAKURO 京都-THE SHARE HOTELS- .....	114
09.富士レークホテル .....	116
10.さぎの湯荘 .....	118
11.ホテルはつはな .....	122

#### < 設計事例集について >

- ・ 建築主や設計者等が個々のプロジェクトの企画・設計・施設管理をまとめるにあたり、参考に活用できるよう、新築・改修、水廻りや客室の大きさ等の分類に応じて、様々な特徴あるホテル又は旅館について事例調査を行い、建築物全体としてバリアフリー対応の優れた事例を選定し、バリアフリー対応の取組方法、きめ細やかな設計上の配慮事項、集客力の向上や魅力ある施設づくりにつながるバリアフリー改修等について、「設計事例集」にとりまとめた。
- ・ 高齢者、障害者等を含めた、誰もが利用しやすい魅力ある車椅子利用者用客室の事例においては、快適な内装空間や利用者のニーズに応じて備えるべき設備・備品等、快適に宿泊できる環境を掲載している。
- ・ ソフト面におけるバリアフリー対応の事例においては、必要な具体的な貸し出し備品や人的なサービスの充実、スタッフの研修活動等に積極的に取り組んでいる例を掲載している。
- ・ バリアフリー対応の情報提供の事例においては、客室や共用部分の充実した施設情報やサービス情報について、利用者に分かりやすく写真や動画等も積極的に活用している例を掲載している。
- ・ 既存建物からの用途変更及び全面改修が行われたホテル又は旅館で、バリアフリー対応がなされた例を掲載している。また複数の既存客室から車椅子利用者用客室に改修し、室内において床の段差解消している例も掲載している。
- ・ なお、一般客室（新築）については、本建築設計標準追補版に示される便所・浴室等の出入口の有効幅員（原則として75cm以上）を満たす事例の情報が得られなかったため、それに近い水準の取組みを行っている事例を掲載している。

## ワンフロア全ての客室において、 車椅子使用者にも配慮した都心型シティホテル

### 計画概要

国立霞ヶ丘競技場(国立競技場)の建替えによって移転が決定した日本青年館と日本スポーツ振興センターの合築事業である、日本青年館・日本スポーツ振興センタービルの8~15階にあるホテルである。10階はユニバーサルフロア(車椅子使用者の利用にも配慮した客室階、客室数:29室)として計画され、ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室)と車椅子使用者の利用にも配慮した2種類の一般客室(シングル・ツインルーム)が整備されている。

所在地	東京都新宿区霞ヶ丘町4-1
設計者	株式会社 久米設計
構造	鉄骨造(地上) 鉄骨鉄筋コンクリート造(地下)
階数	地下2階、地上16階、塔屋1階
竣工年	2017年
建築面積	2,650㎡
延床面積	31,750㎡
客室数	220室(車椅子使用者用客室1室)
付帯施設	レストラン、バンケットホール、大浴場、会議室

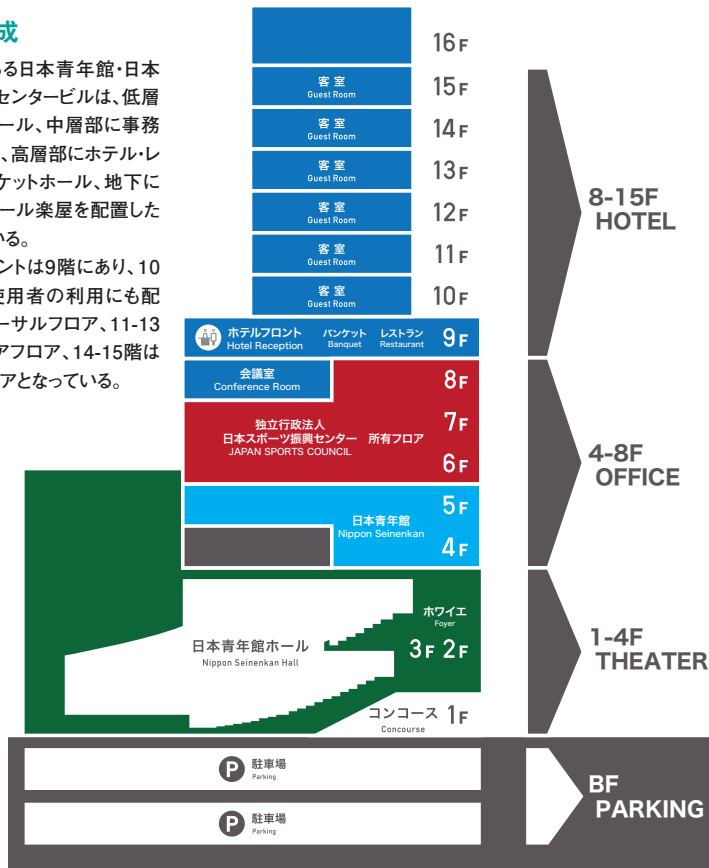
※1 写真撮影 株式会社エスエス東京  
※2 久米設計提供 資料に一部加筆



※1

### 施設構成

複合建築である日本青年館・日本スポーツ振興センタービルは、低層部に多目的ホール、中層部に事務所や貸会議室、高層部にホテル・レストラン・バンケットホール、地下には駐車場やホール楽屋を配置した構成となっている。ホテルのフロントは9階にあり、10階は車椅子使用者の利用にも配慮したユニバーサルフロア、11-13階はスーベリアフロア、14-15階はデラックスフロアとなっている。



### 1階エントランスホール



### アプローチ・カメラ付きインターホン

1階のホテルエントランスの風除室前には段があるが、1階コンコース(建物内)や段のない敷地内通路を経て、道路歩道からホテルエントランスへの車椅子使用者のアクセスが可能となっている。また風除室手前のカメラ付きインターホンまで、視覚障害者誘導用ブロックが敷設されている。

## 9階フロント階



### 共用部サイン

9階のエレベーターホールにあるサインには、大きな文字と図記号により、フロントやトイレ等の位置が示されている。



### フロント

フロントには、一般的な高さのカウンターとともに、車椅子使用者の利用にも配慮した高さのカウンター(写真右、高さ:75cm・天板下部スペース:69cm)が設けられている。



### 多機能便所のサイン

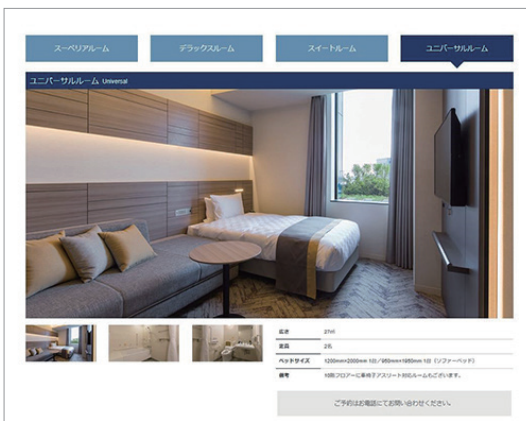
9階に設けられた多機能便房には、オストメイト用設備、乳幼児用おむつ交換台、着替え台等が設置されていることを示したサインが設けられている。

## 貸し出し備品



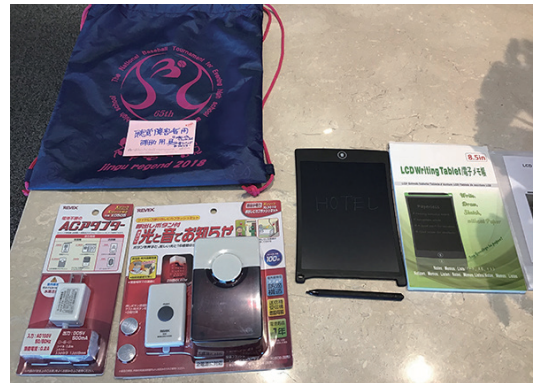
### 車椅子(2台)

フロントでは、館内用の車椅子の貸し出しが行われている。



## 情報提供

公式HPでは他の客室とともに、ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室)の紹介がされている。ユニバーサルルームの予約については、電話対応となっている。



### 室内信号装置、筆談器

フロントでは、聴覚障害者等の利用に配慮し、光や音でお知らせができる室内信号装置(左)や、筆談器(右)の貸し出しが行われている。[聴覚障害者等対応]

## 10階ユニバーサルフロア

※2



- ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室)
- 一般客室(シングルルーム)
- 一般客室(ツインルーム)
- 車椅子使用者対応エレベーター

10階には、ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室):1室、車椅子使用者も利用可能な一般客室:28室、大浴場等がある。アクセスのしやすさに配慮し、ユニバーサルルームはエレベーターホールに近い場所に配置されている。

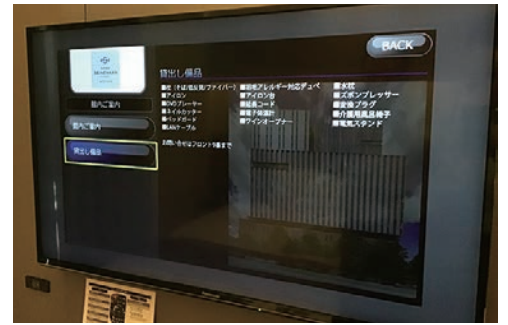
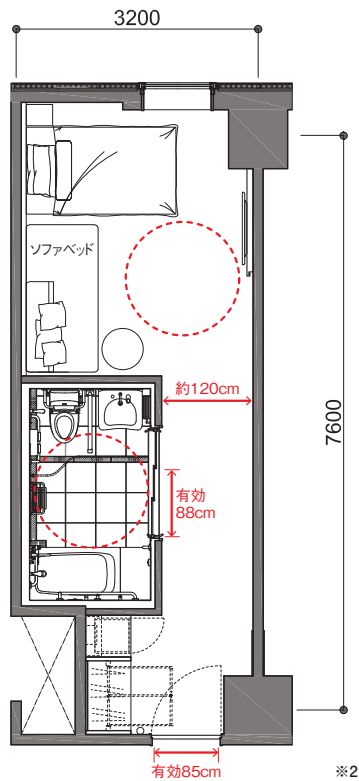
またアスリートの団体利用も想定されることから、共用部分にはマッサージルーム・ミーティングルームが設置されている。(10~15階共通)



廊下(幅員:180cm)

- ブラウンを基調とした、シンプルで洗練されたデザインのユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室)
- 車椅子使用者の利用にも配慮した複数タイプ(間取り・広さ)の客室を10階に提供

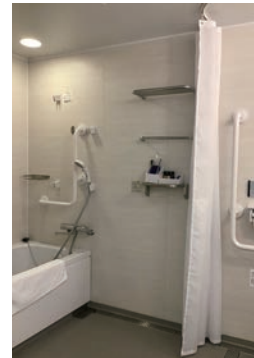
### ■ ユニバーサルルーム (車椅子使用者用客室26.89㎡)



#### 客室内部

シングルルームだが、ソファベッドがあり、ツインルームとして利用することもできる。

室内に備えられたテレビでは、貸し出し可能な備品の紹介等の情報提供がされている。(一般客室も共通)



#### 水廻り室

出入口は3枚引き違い戸となっている。

浴槽の縁には移乗台と複数の手すり、シャワーフックが設置されている。

トイレにはL型手すり、はねあげ手すり、背もたれ、シャワーがつけられ、洗面台の下部には車椅子使用者の膝が入るスペースが設けられている。



#### 客室出入口、昇降式のハンガーパイプ

ドア室内側の避難経路の案内表示は、車椅子使用者も見やすい高さに設置されている。

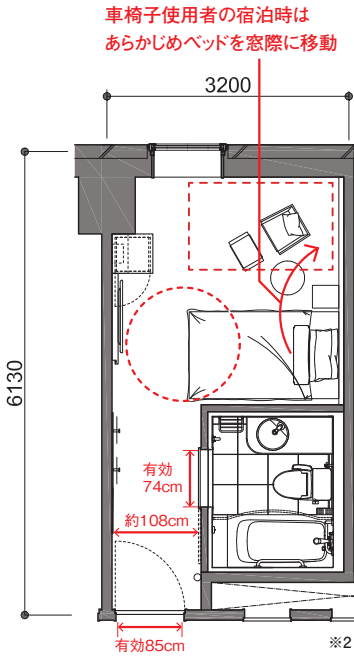
収納のハンガーパイプは、付属のハンドルを用いることで、車椅子使用者の手の届く高さまで下ろすことができる。



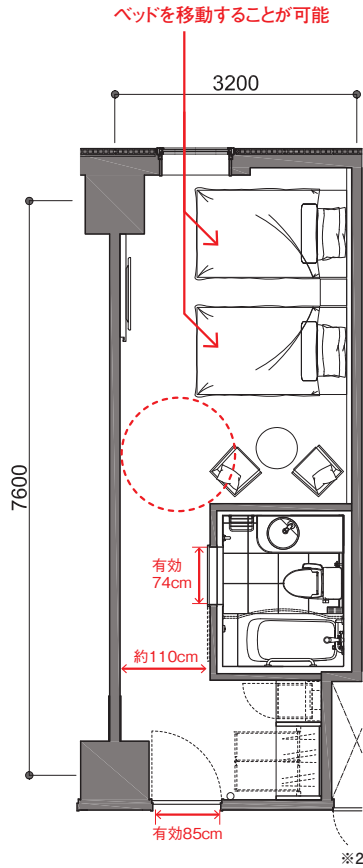
#### コーナーガード、スイッチ等

車椅子使用者に配慮し、壁仕上色と同系色のコーナーガード(保護材)を設置している。床から約40cmの高さにコンセント、約100cmの高さにスイッチが設けられている。

■ シングルルーム  
(一般客室18.31㎡)



■ ツインルーム  
(一般客室26.89㎡)



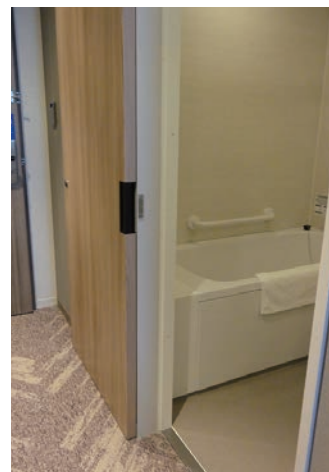
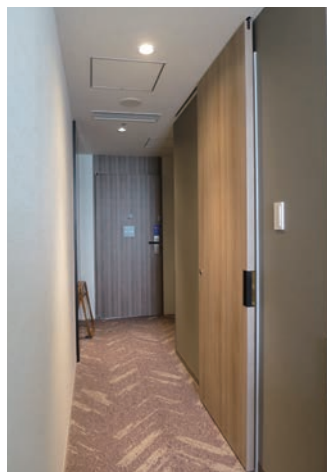
客室内部 (写真上:シングルルーム、写真下:ツインルーム)

シングルルームでは、車椅子使用者が利用する際には、通常はユニットバス側にあるベッドを窓側にあらかじめ移動しておくことで、十分なスペースを確保することが可能となっている。(ベッド周りのスイッチ等は、ベッドを移動しても使用できる位置に設置されている。)  
ツインルームでも、ベッドを移動して、ベッド間の移乗スペースを確保することが可能となっている。



水廻り室 (浴槽・洗面所・便所一体タイプ)

洗面台の利用や腰掛便座への移乗等がしやすいよう、洗面台の下部には車椅子使用者の膝が入るスペースが確保され、洗面ボウルの向き(水栓の位置)等も工夫されている。また洗面台は、腰掛便座への移乗時の身体支持に使うことも可能な位置に設けられている。  
浴槽には、手すり(2か所)と移乗台が設けられている。



客室内通路と水廻り室出入口

水廻り室の出入口前後に高低差はない。  
水廻り室の出入口ドアはユニット部品ではなく、内装建具(外引き戸)となっている。またできる限り車椅子使用者が出入可能な有効幅員を確保するため、ドアの引手は、引き残しの不要な形状(ドア埋め込みタイプ)となっている。

## 各階にユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室)を提供するラグジュアリーホテル

## 計画概要

東京ガーデンテラス紀尾井町(紀尾井タワー)の最上部30~36階に位置するホテルである。ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室、5室)は、31~35階の各階の同位置に1室ずつ設けられている。また誰もが利用しやすいよう、ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室)の内装・浴室等のデザイン・設備機器等は、一般客室と同様・同水準のものとなっている。一般客室245室のうち223室では、出入口の有効幅員 客室:85cmが確保されている。

所在地	東京都千代田区紀尾井町1-2
建築主	株式会社西武プロパティーズ
設計者	株式会社日建設計
構造	鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄筋コンクリート造
階数	地下2階、地上36階、塔屋2階(ホテル30~36階)
竣工年	2016年
建築面積	30,360.19㎡
延床面積	226,193.85㎡
客室数	250室(うち車椅子使用者用客室:5室)
付帯施設	レストラン、ダイニング・バー、屋内プール、スパ、フィットネス、ミーティングルーム

※1 写真・株式会社エスエス東京

※2 株式会社日建設計 提供 資料に一部加筆等



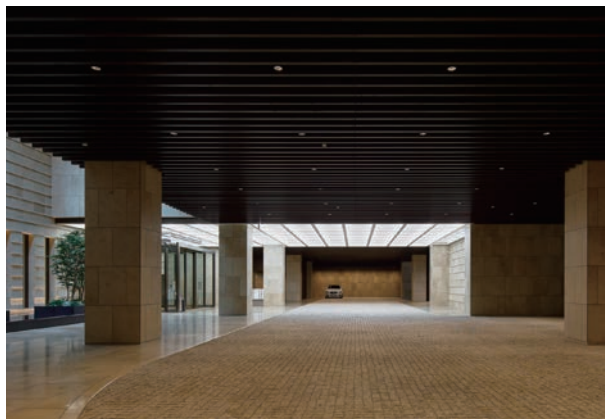
※1

## ■ 共用部



フロント(36階)

※1



車寄せ(2階)  
車路(ピンコロ石)と歩道(花崗岩平板)の間に高低差はない。

※1



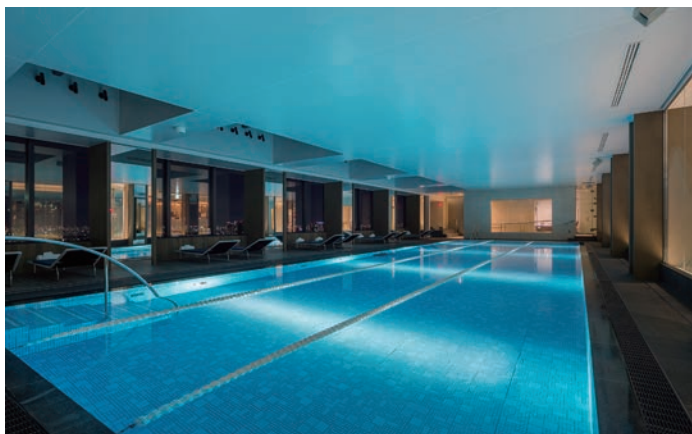
ショップ(36階)

※1

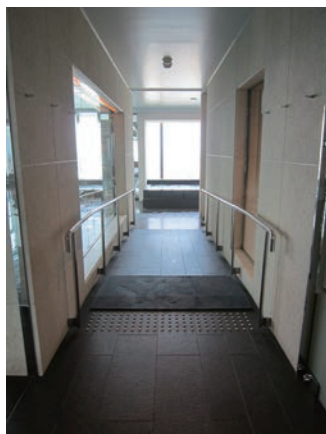


ロビー(36階)

※1



※1

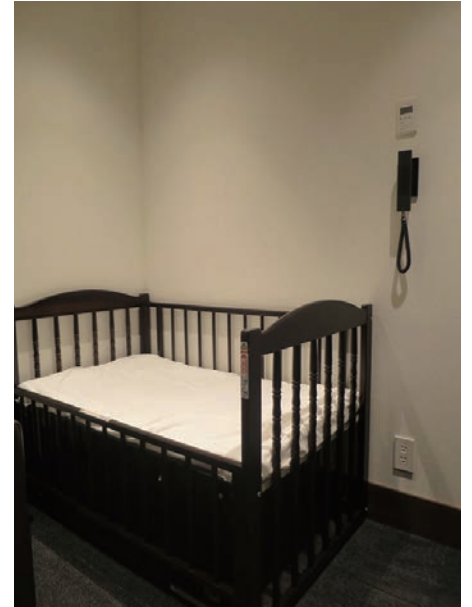


スパ(30階)

スパ入口には、傾斜路と手すりが設けられている。傾斜路の床面は、滑りにくい仕上げ材料で仕上げられている。



## ■ 共用部 (授乳室)



### 授乳室 (36階)

フロント階に設けられた授乳室には、ベビーベッド、授乳用いす、調乳栓、ダストボックス、使用中を示すドア表示マグネットが設けられている。

## ■ 35階フロア



- ユニバーサル (車椅子使用者用客室)
- 客室出入口等の有効幅員を確保した一般客室
- 車椅子使用者対応エレベーター

- ユニバーサルルームは、31～35階の各階に1室ずつ(計5室)設けられている
- 35階には、ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室)が1室と、客室出入口:有効幅員85cm(水廻り室出入口:有効幅員70cm以上)が確保された一般客室が29室ある。



アルコーブの設けられた客室フロアの廊下

## ■ 貸し出し備品



### 屋内信号装置 (1台)

聴覚障害者等に配慮し、呼出ボタン、来客の知らせや電話の着信等の音に反応して無線で光表示する機器や、振動でお知らせするマットの貸し出しを行っている。[聴覚障害者等対応]



### 浴槽用ステップ (3台)



### バスタチェアー (3台)



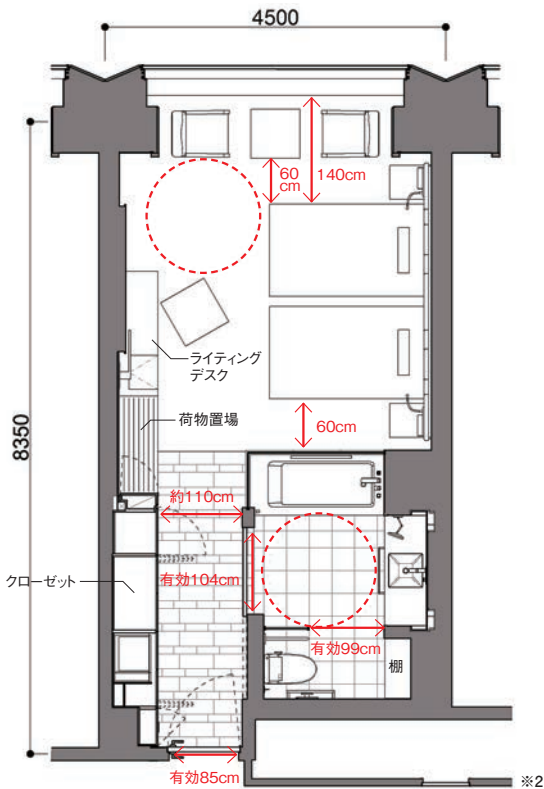
### 背もたれつきバスタチェアー (3台)



### 車椅子 (2台)

- 白を基調とし、インテリアの一部となるガラス張りの浴室等が設けられたユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室)
- デザイン性と利用者への配慮の両立を目指した手すり、金物等の採用

■ユニバーサル(車椅子使用者用客室 42㎡)



客室内部

ツインルームの客室内は、窓際の椅子・テーブルを移動することで、ベッドへの移乗スペースを確保することが可能となっている。テーブルの高さは70cm、天板下部のスペースは60cmとなっている。

※1

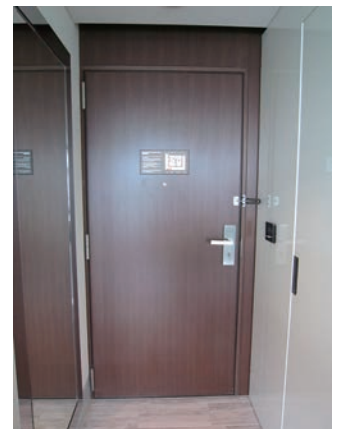


ライティングデスクと荷物置場

ライティングデスクの下部には、車椅子使用者の膝が入るスペースが確保されている。

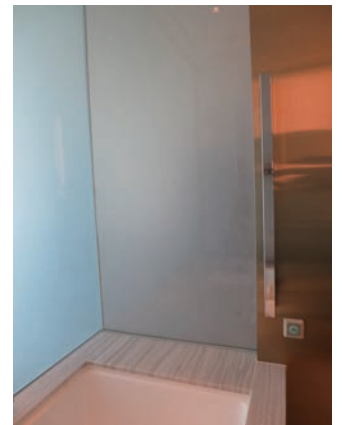
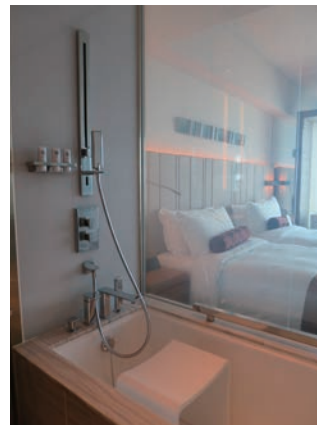
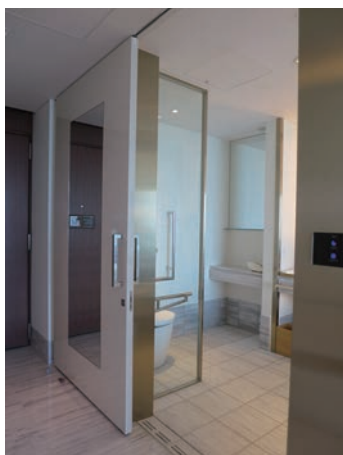


※1



ユニバーサル客室出入口(室内側) 一般客室出入口(室内側)

ユニバーサル客室出入口の避難経路図は、一般客室と比べて低い位置に設けられている。



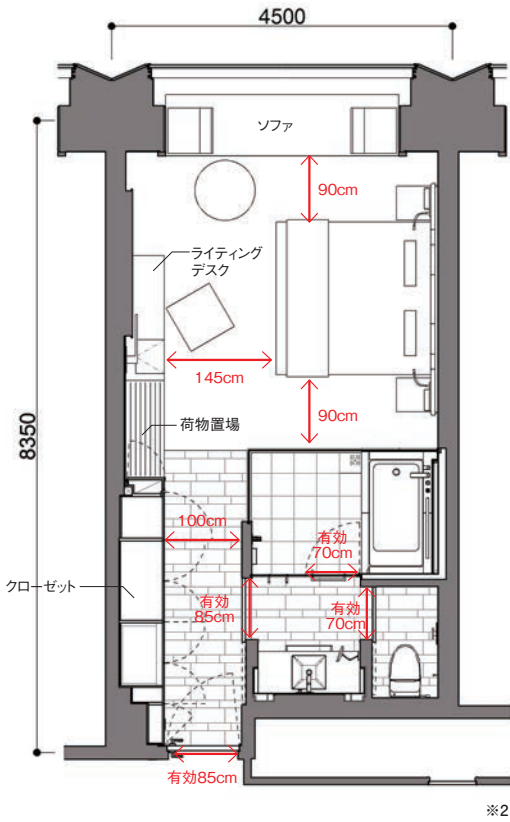
シャワー及び浴槽

シャワーバーのあるハンドシャワーは、高さ調整が可能となっている。浴槽には移乗台、浴槽出入りのためのステンレス製の手すり、呼出しボタンが設けられている。

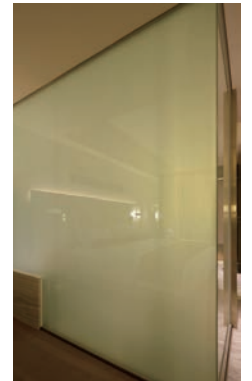
水廻り室

水廻り室出入口は引き戸となっており、前後に高低差はなく、出入口の下部に側溝が設けられている。洗面台下部に車椅子使用者の膝が入るスペースが確保されている。トイレには、ステンレス製のL型手すり及び横手すり、呼出しボタンが設けられている。

## ■ デラックスキング(一般客室 42㎡)

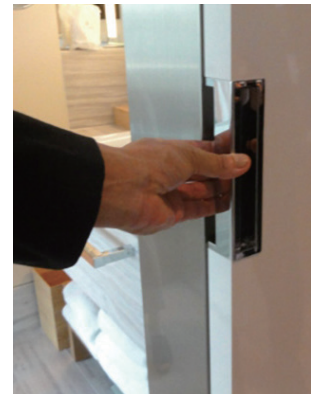
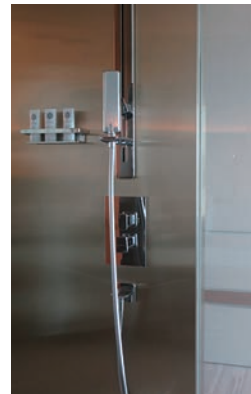


**客室内部**  
窓際には床から45cm程度のソファが設けられている。



### ガラス張りの浴室等

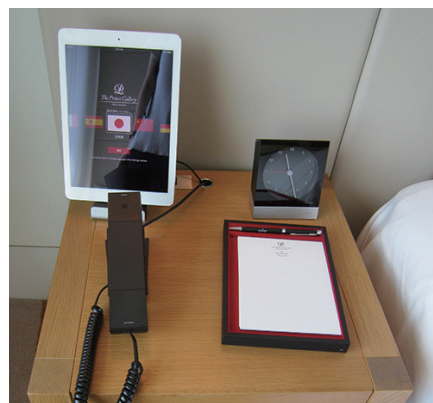
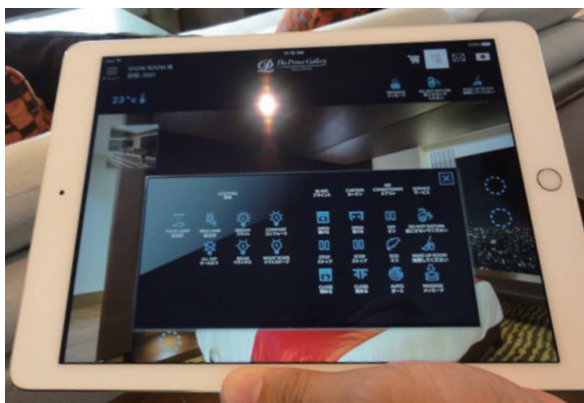
浴室等のガラスには、液晶フィルムが組み込まれており、スイッチで透明・不透明を切り替えることが可能となっている。



### 水廻り室

水廻り室出入口の前後に高低差はなく、戸の引手は、有効幅員を確保するために、戸の引き残しが不要な形状になっている。洗い場のある浴室には、浴槽出入りのための縦手すり、浴槽内立ち座りのための横手すりが設けられている。シャワーバーのあるハンドシャワーは、高さ調整が可能となっている。

## ■ 情報伝達設備



**客室内に用意されたタブレット等**  
タブレットは、フロントとのメール、客室内の照明制御等ができるようにシステム構築がされている。[聴覚障害者等対応]

都心のビジネス・観光の拠点として、バリアフリー対応の共用空間・アクセシブルルーム(車椅子使用者用客室)を提供するホテル

### 計画概要

東京・銀座の中心部に立地するビジネスホテルである。

誰もが利用しやすいよう、アクセシブルルーム(車椅子使用者用客室、1室)の内装・浴室等のデザイン・設備機器等は、一般客室と同様・同水準のものとなっている。

多様な利用者を想定し、インターホンには点字・英語が併記されているほか、フロントには点字併記の館内利用案内が準備されている。

所在地	東京都中央区銀座1丁目13-15
建築主	ダイワロイヤル株式会社
設計者	基本設計・デザイン監修:株式会社梓設計 実施設計:大和ハウス工業株式会社
構造	鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地下1階、地上13階、塔屋1階
竣工年	2015年
建築面積	1,085.99㎡
延床面積	13,385.98㎡
客室数	270室 (うち車椅子使用者用客室:1室)
付帯施設	事務所、飲食店、物販店舗

※1 ダイワロイヤル株式会社 提供



※1

### 共用部



※1



※1

#### ホテル専用エントランス

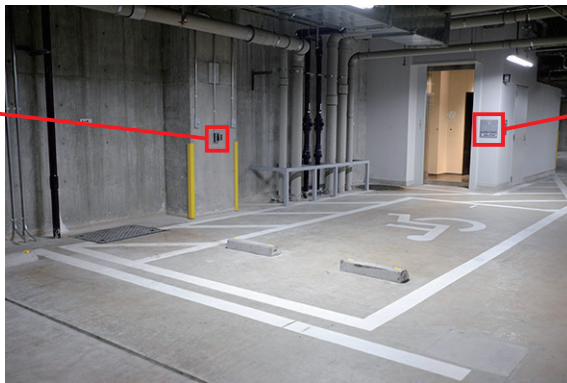
ホテルには、1階の専用エントランスからアクセスする。視覚障害者誘導用ブロック(点状ブロック)が敷設されており、建物に入って右手に設置されたカメラ付きインターホンで3階のフロントに連絡することができる。道路上のL字型溝を切り欠くことにより、段差なくアクセスすることができる。



カメラ付きインターホン  
サイン表示には、点字及び英語が併記されている。



カメラ付き  
インターホン

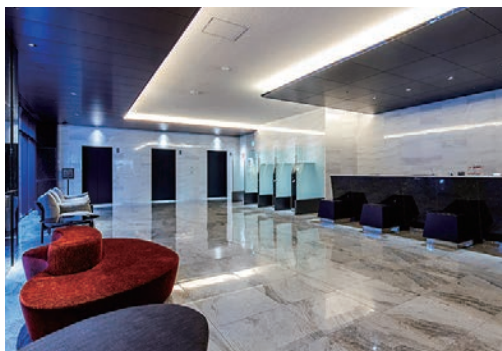


#### 案内表示板

地下駐車場からホテルのフロント及び客室への誘導サイン及び館内案内が設けられている。

#### 駐車場(地下1階)

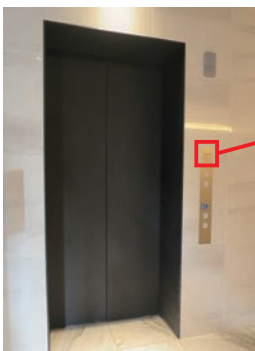
車椅子使用者用駐車施設が1か所設けられている。通路に設けられたカメラ付きインターホンから、3階のフロントに連絡することができる。フロントへは車椅子使用者対応エレベーターで移動する。



#### フロント・ロビー(3階)

1階から3階のフロントへはエレベーターで移動する。

※1



#### 車椅子使用者対応エレベーター出入口(乗場)

3基あるエレベーターのうち1基は車椅子使用者対応となっている。



施設案内  
(英語併記)



カードリーダー  
認識部



#### エレベーターかご内(車椅子使用者対応の副操作盤等)

車椅子使用者対応の副操作盤と同じ高さ、着床階指示のためのカードリーダー認識部が設けられている。

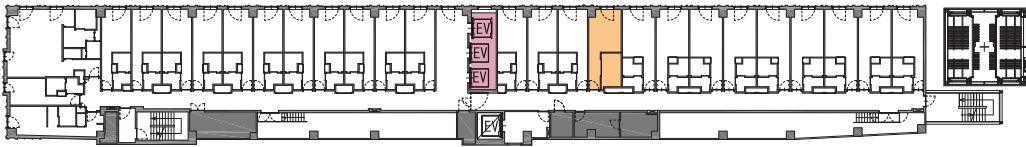
## ● 洗練され、落ち着いたデザインのアクセシブルルーム(車椅子利用者用客室)

### ■ 4階平面図(客室フロア)

車椅子利用者用客室は、フロントの直上階である4階の、エレベーター付近に設けられている。

■ アクセシブルルーム  
(車椅子利用者用客室)

■ 車椅子利用者対応エレベーター

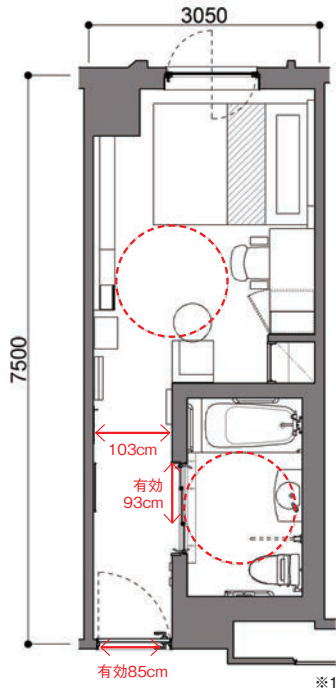


※1



浮き彫りの客室部屋番号の案内表示(各階共通)

### ■ アクセシブルルーム(車椅子利用者用客室 23㎡)



客室内部

ベッドを窓際に設けることで、ベッドの手に車椅子が回転できるスペースが確保されている。

※1



客室フロアの廊下



フラッシュライト

火災等があった際に、光で知らせようになっている。



水廻り室

洗面器の高さは69cmで、足元にはスペース(高さ:56cm)が確保されている。内装材はタイル張り仕上げとなっている。

※1



水廻り室出入口

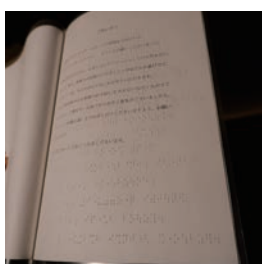
水廻り室の出入口には3枚片引き戸が設けられ、前後に高低差はない。



ハンガーフック(高さ:約120cm)

通常の高い位置のフックのほかに、車椅子利用者用の高さのものも設けられている。

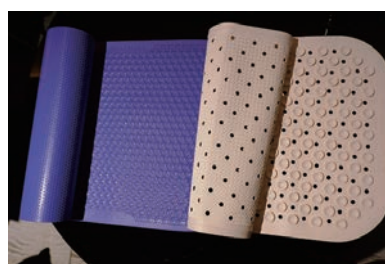
### ■ 貸し出し備品等



点字を併記した利用案内  
[視覚障害者等対応]



車椅子(1台)



浴槽滑り止めマット

### ■ 室名表示



浮き彫りの室名表示

客室出入口の扉は、部屋番号が見やすいように浮き彫りにされている。

## 高齢者、障害者等の旅行者や海外からの来訪者等にも配慮した空港国際線出発ロビーに直結のシティホテル

### 計画概要

羽田空港国際線旅客ターミナルビルに併設され、出発ロビーに直結するほか、保安エリア内に国内初のトランジットホテルを有するホテルである。

一般エリアの各階に5室、保安エリアに1室のユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室)が整備されている。

誰もが利用しやすいよう、ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室、1室)の内装・浴室等のデザイン・設備機器等は、一般客室と同様・同水準のものとなっている。

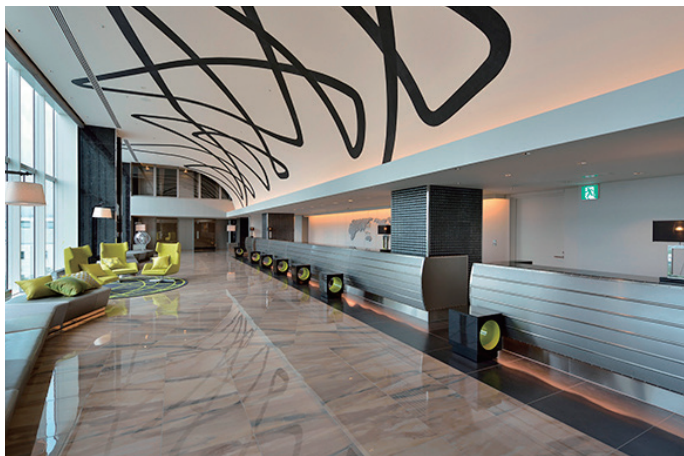
所在地	東京都大田区羽田空港2丁目6番5号 羽田空港国際線旅客ターミナルビル内
建築主	東京国際空港ターミナル株式会社
設計者	梓・安井・PCPJ東京国際空港国際線旅客ターミナル設計監理共同企業体/株式会社三菱地所設計(ホテル内装設計他)
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上8階
竣工年	2014年
建築面積	2,198.61㎡(ホテル棟)
延床面積	11,642.60㎡(ホテル用途面積)
客室数	一般エリア:296室(うち車椅子使用者用客室:5室) 保安エリア:17室(うち車椅子使用者用客室:1室)
付帯施設	レストラン、ミーティングルーム等

※1 写真撮影 株式会社エスエス



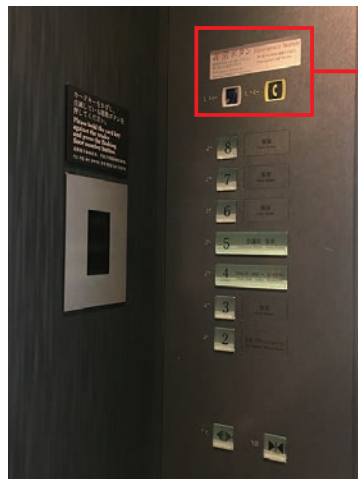
※1

### ■ 共用部



#### エントランス・フロント

エントランスは、国際線旅客ターミナルビル3階・出発ロビー内に位置する。

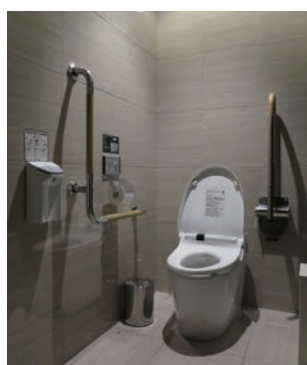


エレベーター内の非常ボタン  
聴覚障害者が耳マークのボタンを押し続けると、係員が来るようになっている。



#### 共用便所の案内表示

共用便所の案内表示には、絵記号と点字が併記されている。



#### 共用便所(女性)の便房

両側手すりが設置された広めの便房が設けられている。

### ■ 貸し出し備品



#### シャワーチェア、浴槽移乗台(バスボード)

予約時にリクエストがあると、客室に予め設置されている。

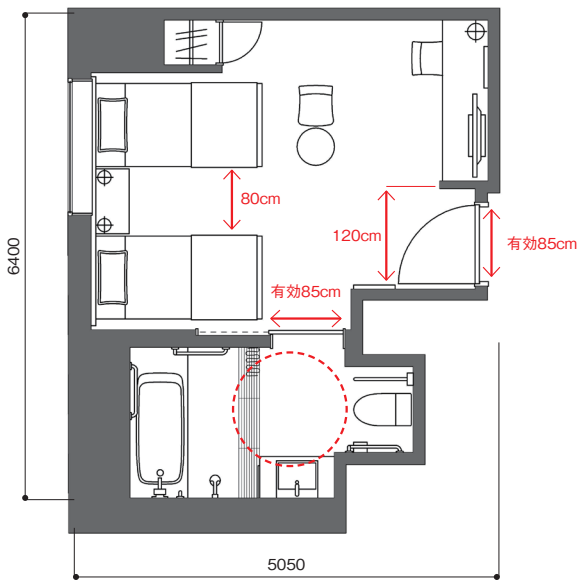


#### 屋内信号装置

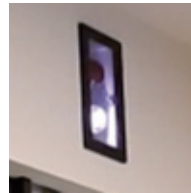
ユニバーサルルームには、呼出握りボタン、火災等の非常時に客室に電話で連絡すると、点灯するライトと文字による表示機器を貸し出している。  
[聴覚障害者等対応]

● スタイリッシュなデザインのユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室、一般エリア(5室)及び保安エリア(1室))

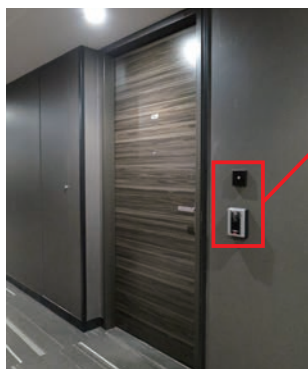
■ デラックスツイン(車椅子使用者用客室 29㎡)



客室内部



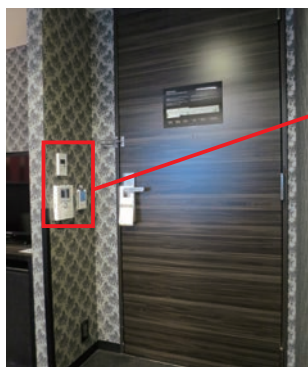
フラッシュライト  
インターホンが押されると、フラッシュライトが光るようになっている。



聴覚障害者用の呼び出しボタン(写真上)とカメラ付きインターホン(写真下)

客室出入口(廊下側)

聴覚障害者用の呼び出しボタンが押されると、貸し出し備品の回転灯が光るようになっている。



客室出入口(室内側)

一般客室はインターホンのみだが、ユニバーサルルームはカメラ付であり、室内側のモニターは、床から100cmの高さに設けられている。



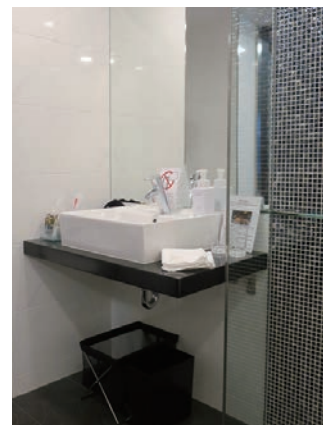
クローゼット

低い位置からハンガーを掛けることができるように、S字フックを貸し出している。



トイレ

L型手すり(一部木調)及びはねあげ式の手すり、呼び出しボタンが設けられている。

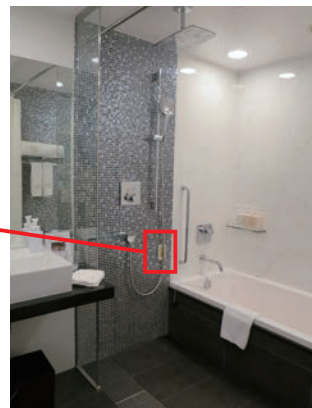


洗面台

洗面器の下部には、車いす使用者の膝が入るスペースが確保されている。



呼び出しボタン



シャワー

シャワーはハンドシャワーと天井への固定シャワーであり、浴槽に入らずにシャワー浴が可能となっている。ハンドシャワーのシャワーヘッドは、バーに沿ってスライドし、高さが調節できるようになっている。



浴槽及び手すり

移乗台、浴槽での立ち座り姿勢を保持するための手すり、浴槽出入りのための手すりが設けられている。

## 京都駅に直結した観光・ビジネスの拠点として、 「ユニバーサルサービス」の充実を図ったシティホテル

### 計画概要

JR京都駅に直結した観光・ビジネスの拠点となるシティホテルである。

2階にホテルメインロビー、3～7階には宴会場等の共用空間が設けられ、7～12階には客室が設けられている。

ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室6室)は、7～12階の各階の南エレベーターから近い同位置に、1室ずつ設けられている。

社内チームが結成され、貸し出し備品の充実や有資格者の配置等、「ユニバーサルサービス」と名付けたソフト面の工夫が継続的に行われている。

所在地	京都府京都市下京区烏丸通塩小路下ル JR京都駅中央口
建築主	西日本旅客鉄道株式会社、京都駅ビル開発株式会社
設計者	全体：原広司+アトリエ・ファイ建築研究所 ホテル部内装設備設計：株式会社山下設計 改修設計：(2007年～2009年)株式会社山下設計 (2017年～2020年)株式会社安井建築設計事務所
構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造
階数	地下3階地上16階(ホテル部)12階(百貨店部)塔屋1階
竣工年	1997年(改修年:2007年～2009年、2017年～2020年)
建築面積	32,351㎡
延床面積	237,689㎡ ホテル専有部:69,890㎡
客室数	537室(うち車椅子使用者用客室:6室)
付帯施設	宴会場、レストラン、バー、プール・フィットネス、美容室、エステサロン、診療所等



※1 ホテルグランヴィア京都(「営業のご案内」パンレットより資料に一部加筆)  
※2 株式会社山下設計提供 資料に一部加筆等

### ■ フロント階(2階)



#### フロント

一般的な高さのカウンターの横に、いすに座って利用できるカウンターが設けられている。(高さ70cm、天板下部57cm)

### ■ 共用部



#### 車寄せ(1階)



#### ロビーラウンジ出入口

ロビーラウンジの床は、フロント部より一段高くなっていたので、改修により、出入口の段の横に傾斜路が設けられた。



車椅子使用者対応エレベーター(1-2階)  
車寄せ(1階)からメインエントランス(2階)には、エレベーターでアクセスが可能となっている(2008年改修時に増設)

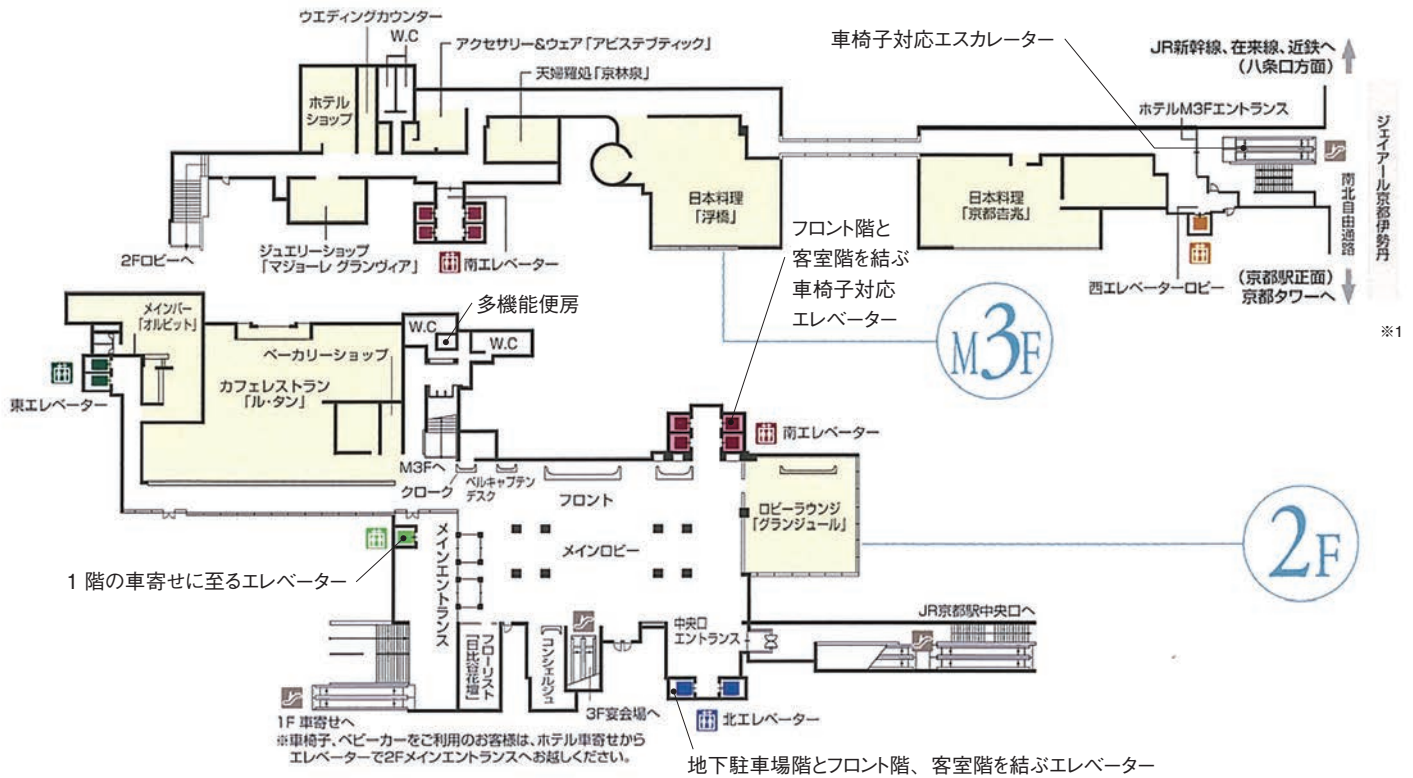
### ■ エスカレーター(M3階)

京都駅南北自由通路に面するM3階エントランスには、車椅子使用者対応のエスカレーター(踏段3枚を同一の面に保ちながら昇降を行うエスカレーター)が設けられている。車椅子使用者が利用する際には、呼出しボタンでフロントを呼び出す必要がある。

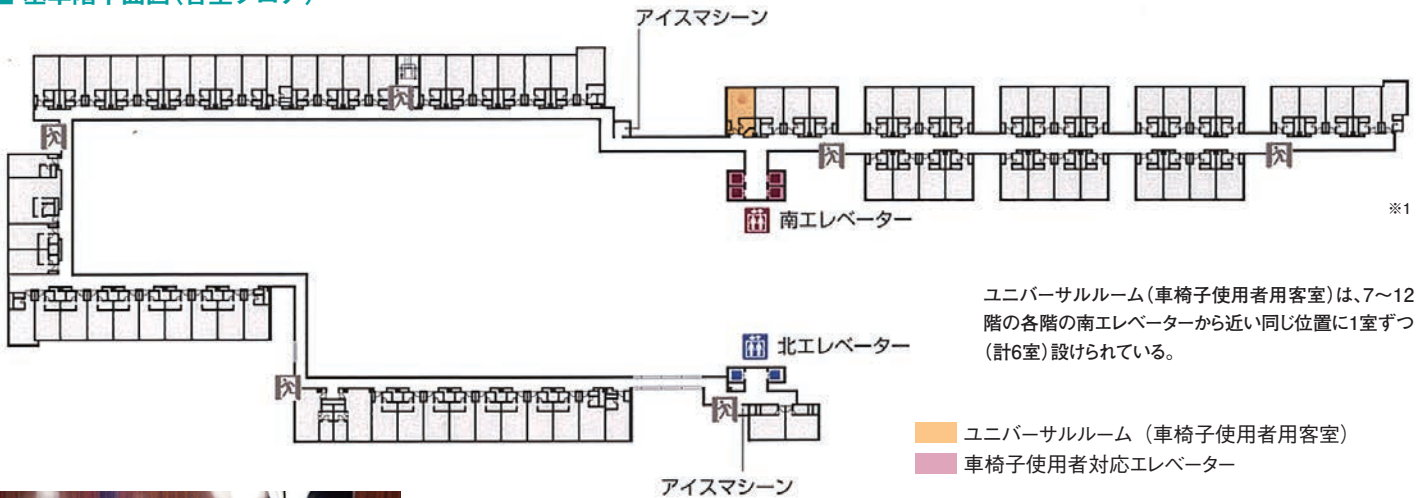




## ■ 2階、M3階平面図(共用部)

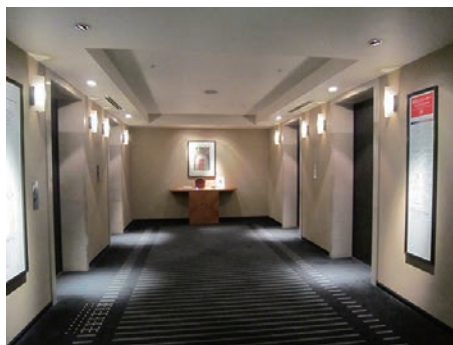


## ■ 基準階平面図(客室フロア)

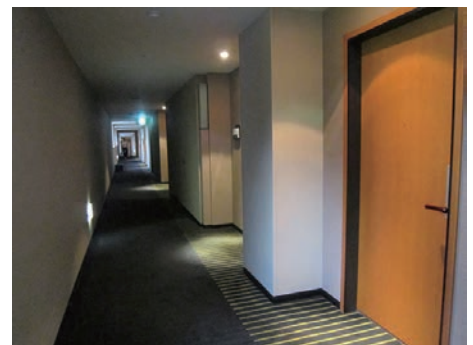


エレベーター内部

エレベーター内部には、非常時用の備品を収納したベンチが設けられている。



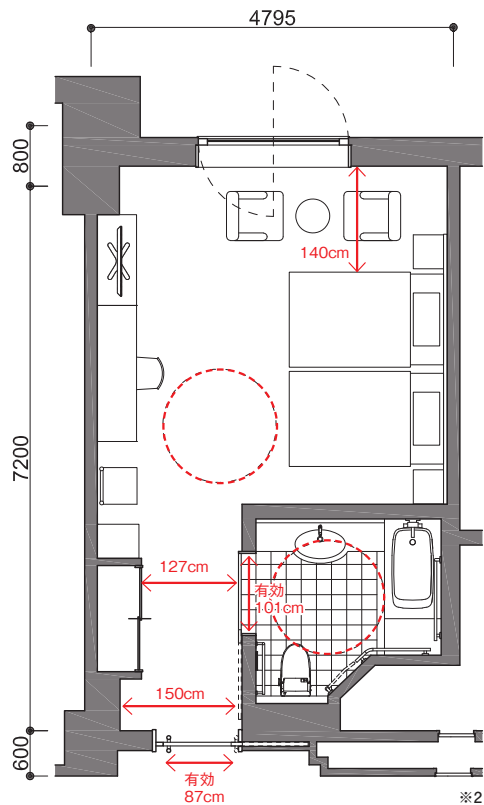
南エレベーターホール(8階)



アルコーブの設けられた客室フロアの廊下

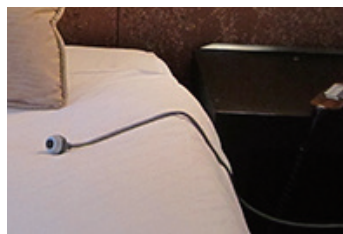
- 各階のエレベーター付近に、ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室・6室)を提供
- ハード面のバリアフリー対応・改修とあわせて、ソフト面(備品貸し出し、有資格者(ハートフルアドバイザー)の配置等)の対応を実施

### ■ ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室 34㎡)



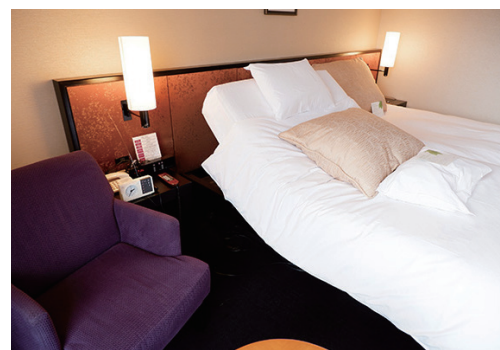
#### 客室内部

ベッドは電動リクライニングベッドとなっている。(2室のみ)  
ライティングデスクの高さ:70cm、  
天板下部は60cm。



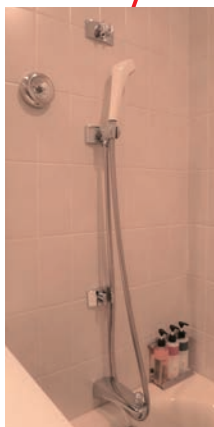
#### 呼出しボタン

フロントを呼び出すことが可能となっている。



#### 水廻り室

水廻り室出入口の前後に高低差はない。浴槽には、移乗台及び手すり(一部木製)が設けられている。シャワーフックは、3ヶ所に設けられている。



シャワーフック



カードリーダ認識部

#### 客室出入口(室外側)

ユニバーサルルームの6室の客室出入口は、引き戸となっている(5室は改修により引き戸を設置)。(カードリーダ認識部の高さ:94cm)



#### クローゼット

ハンガータイプは、受け金物が高い位置と低い位置(床から100cm)にあり、高さを変えることができる。

#### トイレ

L型手すり及び可動式手すり(一部木製)が設けられている。(可動式は1室のみ)



呼出しボタン、  
内線電話

## ■ スーペリアツイン(一般客室 34㎡)



### 客室内部

ベッド前の通路は、竣工時より170cmの幅員がある。  
(本客室の仕上げ及び家具等は、2018年に改修)



### 浴室

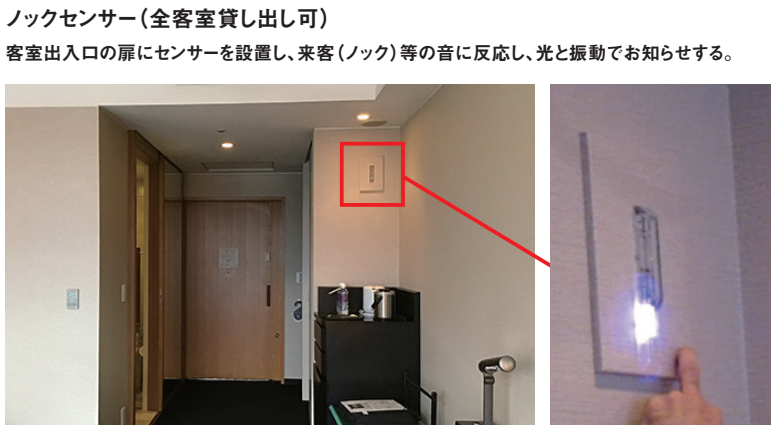
洗い場のある浴室には、浴槽出入りのための縦手すり、及び、浴槽内での立ち座りのための横手すりが設けられている。浴槽のエプロンは、浴槽への出入りや立ち上りをサポートする形状となっている。

## ■ 案内表示、情報伝達設備、貸し出し備品等



### ロックセンサー(全客室貸し出し可)

客室出入口の扉にセンサーを設置し、来客(ロック)等の音に反応し、光と振動でお知らせする。



### フラッシュライト(ユニバーサルルーム1室のみ)

来客等があると、フラッシュライトが光るようになっている。



### 屋内信号装置(全客室貸し出し可)

聴覚障害者等に配慮し、来客(ロック)やFAXの着信等を光や振動でお知らせする機器の貸し出しを行っている。[聴覚障害者等対応]



シャワー用車椅子(1台)



浴槽滑り止めマット、移乗台(4台)



車椅子



FAX(全客室貸し出し可)

聴覚障害者等に配慮し、フロント等への連絡手段として貸し出しを行っている。